

★職業講話（1年）

1月11日（土）の1校時～3校時に、1年生のキャリア教育「職業講話」が行われました。1校時の全体会には「農業の右腕」として、農家の経営改善のお手伝いをしている方を講師にお招きし、お話いただきました。

2、3校時には各分科会のグループに分かれ、8名の講師の先生からのお話を聴きました。事前に、その職業について調べてはいたものの、講師の先生方からは、実体験を交えたお話をいただいたり、やりがいや職業の詳細を教えていただいたりすることで、知らないことがたくさんあったようで、生徒は感銘を受けていました。



←「研究者」の方の分科会では、実際に講師の方の会社の商品であるチョコレートを試食し、チョコの香りで幸福を感じるかどうか体験していました。

↓行政書士の方に名刺をいただいたり、声優の方にサインをもらったり、職業についてだけでなく、その方の生き方に触れる貴重な体験をさせていただきました！！



以下は生徒の感想の一部です。

～全体会～

【農業経営支援】

農業のやりがいや可能性、ビジネスとは、経営とは何なのか、など幅広いことについて知ることができました。また、努力することの大切さや社会に向き合うことの大切さを、学び、考えるととても良い機会になりました。いつもは消費者の私たちですが、生産者の視点、立場になってみようと思いました。

～分科会～

【研究者】

「研究者」という仕事は、「自分がかんばったことで、他の人が幸せになる」というやりがいがある、すばらしい職業だと思いました。私が印象に残ったのは、この仕事で良かったと思った時は、「自分の世界観が広がる時」と話してくださったことです。私も「世界観が広がる」ということを感じてみたいし、それを感じることができる仕事で生きたいと思いました。

【旅館女将】

印象に残ったことは、色々なことに興味を持ち、色々なことに挑戦することの大切さです。テレビの出演をきっかけに旅館の宣伝につながったとおっしゃっていたので、私は自分の将来の目標とは全く関係がないように見えることでも、いったんやってみるという気持ちはとても大切なのではないかと思います。

講師の先生方、お忙しい中、ありがとうございました。

★入試に向けて（3年）

1月23日（木）には、3年生の私立推薦入試の合格発表もあり、一足先に嬉しい知らせが職員室にも届きました。また1月26日（日）、27日（月）には、都立に推薦入試が行われました。

大部分の3年生が、これからの入試を迎える中、教科の授業も最後の仕上げに入っています。ある教科では入試対策の試験を行ったり、1、2年生の復習を行ったりと、全体が入試に向けて、準備を行っています。



毎週、学級委員から3年生への叱咤激励の名言が送られています。3年生の階段横に掲示してあり、毎日、目に入るようになっています。こうした互いの温かい声掛けが、受験への不安を少しでも払拭してくれるものとなります。

昨年の3年生も、この時期は、受験に合格した人、まだまだ受験が残っている人と、クラスの中に様々な立場の人がいました。そんな中、進路が決定しても、受験を控えている人と同じように猛勉強している姿が見られました。最後の一人が決まるまで、共に戦う。そんな姿が見られ、大変うれしかったです。

「受験は団体戦」とよく言われますが、こうした生徒同士の雰囲気づくりが、そう言われる理由なのではないでしょうか。クラス、学年一丸となって、受験に臨んでください。